

2019年度事業計画

公1事業：音楽に関する学習機会を提供する事業

No. 1 「社会人のための音楽通信教育」

東京音楽学校同声会が母体となり、文部科学省認定音楽分野唯一の「社会人のための音楽通信教育」を実施。1948年（昭和23年）から70年間の実績をもとに今後も継続して民間音楽教育の普及・向上の推進を図る。2013年より時代のニーズに合ったテキスト作成に取り組み、「たのしい作曲法」が文部科学省生涯学習局一般社会人通信教育の認可がなされた。2015年度は文部科学省より通信教育規則改正につき、認定社会通信教育講座の修了試験実施要請に伴い修了課題を作成した。

2018年度に引き続き、「音楽のすべて音楽通論」のテキスト改訂に向けて、理事の松尾祐孝氏を中心に本通信教育添削員の佐藤旬氏・首藤健太郎氏・星出和宏氏とともに改訂案を制作、文部科学省生涯学習局に改訂案を提出し審査及び指導を受ける。

No. 2 「楽譜検定」

楽譜とは、作曲者がプレイヤーに演奏情報を伝えるための設計図、あるいは後世に作品を残すための重要な手段の一つである。作曲者の意図を正しく伝えるためには、より正確で美しい楽譜であることが大事だが、そのためには伝統的な楽譜表記の「ルール」を知っていることがまず必要不可欠である。本検定は「楽譜に関する知識」について一定の指針を示し、その習熟度によってグレード（級）を付与することで、楽譜について学びたい方々の意欲向上、ひいては音楽文化の継承発展を牽引する人材の育成を目指す。

①ホームページ及び試験システムの運営

本検定の入口となるホームページ及び試験システムを運営（2013年7月より公開中）。

楽譜を学ぶことの意義を啓蒙し受験を促す。試験方式はインターネット・オンライン上で実施するものとし、24時間、365日、何時でも何処でも、学び、試験を受けられる体制を整え、設問の作成、継続的な更新作業、受験者情報の管理を含む、検定実施に係る一切の運営を行う。

②楽譜検定のグレードについて

開始当初は10級から2級までのグレードを設置する。10～8級は初学者向け、7～5級は中級者向け、4～2級は高等知識を問う内容とし、将来的には作品審査を伴う1級やそれ以上のグレードの設置も検討する。

③受験料について

本検定の受験は有料とする。ただし、学校等の教育現場でも気軽に活用できるよう10～8級は無料とする。7～5級が500円、4級＝1,000円、3級＝1,500円、2級＝2,000円の受験料を設ける。

④合格基準

およそ8割の正答により合格と判定し、オンライン上で認定証を発行。

⑤プロモーション活動

各種音楽イベントにおいて、リーフレットの配布などのプロモーション活動を行う。

楽譜を学ぶための支援活動、音楽や楽譜を学ぶ際に有用な参考テキストや教育機関を紹介するなど、視野の広い情報提供を行う。

⑥有料グレードの開始について

2019年2月現在、10～8級までの無料グレードのみ公開しており、これまでにおよそ2,800名が楽譜検定に取り組んでいる（2018年には442名が受験）。実際に取り組んだ方から「設問が少ない」「再チャレンジが1回しかできないのでは有料グレードは受けたくない」といった意見が寄せられており、このような諸問題及び設問内容を吟味・解決した上で、有料グレードを開始する。

公2事業：音楽に関する発表機会を提供する事業

No. 3 「日本管打楽器コンクール」

このコンクールは、公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催する事業の一つで、生涯学習を通じての個人並びに社会に役立つ視野に立ち、管楽器及び打楽器（12楽器部門）の各分野から有能なソリストの発掘、優秀な人材の育成及びこのジャンルの啓発を目的とする。尚、各開催楽器部門の1位受賞者に、文部科学大臣賞・東京都知事賞をそれぞれ授与、特別大賞演奏会にて特別大賞受賞者に内閣総理大臣賞（予定）を授与する。

「2019年度 第36回日本管打楽器コンクール」

実施楽器部門：クラリネット・ファゴット・トランペット・テューバ

○クラリネット部門 会場：国立音楽大学（東京都立川市柏町5-5-1）

（第一次予選・第二次予選：新一号館／本選：講堂小ホール）

第一次予選 2019年08月19日（月）～21日（水） 9：00～

第二次予選 2019年08月23日（金） 9：00～

本 選 2019年08月24日（土） 13：00～

○ファゴット部門 会場：尚美ミュージックカレッジ専門学校（東京都文京区本郷4-15-9）

（第一次予選・第二次予選・本選：バリオホール）

第一次予選 2019年08月19日（月）～20日（火） 9：00～

第二次予選 2019年08月22日（木） 9：00～

本 選 2019年08月24日（土） 13：00～

○トランペット部門 会場：東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス（東京都目黒区上目黒1-9-1）

（第一次予選・第二次予選・本選：TCMホール）

第一次予選 2019年08月19日（月）～21日（水） 9：00～

第二次予選 2019年08月23日（金） 9：00～

本 選 2019年08月24日（土） 13：00～

○テューバ部門 会場：昭和音楽大学（神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1）

（第一次予選・第二次予選：汎用スタジオ／本選：ユリホール）

第一次予選 2019年08月19日（月）～20日（火） 9：00～

第二次予選 2019年08月22日（木） 9：00～

本 選 2019年08月24日（土） 13：00～

○特別大賞演奏会及び表彰式

日 時 2019年08月30日（金） 17：30～
会 場 文京シビックホール 大ホール（東京都文京区春日1-16-21）
指揮・共演 山下 一史／東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

□運営役員一覧

運営委員長	尾高 忠明	（NHK交響楽団正指揮者）
運営副委員長	青木 明	（名古屋芸術大学名誉教授）
	吉井 實行	（公益社団法人日本オーケストラ連盟専務理事）
	松尾 祐孝	（本財団理事／日本現代音楽協会理事）
運営実行委員長	石渡 悠史	（本財団理事／日本サクソフーン協会会長）
運営実行副委員長	井上 順平	（日本トロンボーン協会会長）
運営委員	武田 忠善	（クラリネット部門審査委員長／国立音楽大学学長）
	霧生 吉秀	（ファゴット部門審査委員長／日本ファゴット協会会長）
	津堅 直弘	（トランペット部門審査委員長／東京音楽大学教授）
	柏田 良典	（チューバ部門審査委員長／日本ユーフォニアム・チューバ協会副理事長）
運営事務局長	尾上 将己	（本財団常務理事）

□後援（予定）

内閣府、文部科学省、外務省、ドイツ連邦共和国大使館、中華人民共和国駐日本国大使館文化
部、駐日韓国大使館 韓国文化院、東京都、目黒区、文京区、文京区教育委員会、立川市、立川市
教育委員会、川崎市、川崎市教育委員会、「音楽のまち・かわさき」推進協議会、公益社団法人
日本演奏連盟、公益社団法人日本オーケストラ連盟、一般社団法人日本音楽著作権協会、一般社
団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、神奈川県吹
奏楽連盟、他

□特別協力

国立音楽大学、東京音楽大学、昭和音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校

□協 力

一般社団法人日本クラリネット協会、日本ファゴット（バスーン）協会、
日本トランペット協会、日本ユーフォニアム・チューバ協会

□協賛企業（予定）

株式会社図書出版、きらぼし銀行春日町支店、株式会社ヤマハミュージックジャパン、野中貿易
株式会社、株式会社グローバル、株式会社ビュッフェ・クランボン・ジャパン、日本ダブルリー
ド株式会社、株式会社ドルチェ楽器、株式会社セントラル楽器、株式会社ダク、株式会社石森管
楽器、株式会社フォトライフ、ブレン株式会社、株式会社JTB、他

□協賛大学（予定）

東京藝術大学、京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、武蔵野音楽大学、桐朋
学園大学音楽学部、東邦音楽大学、尚美学園大学、上野学園大学、名古屋芸術大学、名古屋音楽大
学、相愛大学音楽学部、くらしき作陽大学音楽学部、エリザベト音楽大学、平成音楽大学、他

No. 4 「日本管楽合奏コンテスト」

管打楽器及び吹奏楽に関する研究・調査・啓発を行うとともに音楽文化の向上を図り、学校教育、生涯学習における我国の管打楽器及び吹奏楽の充実・発展に寄与することを目的とする。その一環として「日本管楽合奏コンテスト」を開催する。

- ①「独自のサウンド」の研究を行う。
- ②管打楽器合奏を主体として、同属楽器アンサンブル・声楽・電子楽器・弦楽器との融合について研究を行う。
- ③時代様式、演奏様式、個人様式などの追求・研究を行う。
- ④全国大会においては、視覚的演出表現等の研究を行う。

「2019年度 第25回日本管楽合奏コンテスト」

予選審査会 2019年09月23日（月）～09月27日（金）＜非公開＞

（予定） 会場：学校法人尚美学園 教室（東京都文京区本郷4-15-9）

全国大会 2019年10月26日（土） 中学校B部門

（予定） 2019年10月27日（日） 高等学校B部門

2019年11月02日（土） 中学校A部門

2019年11月03日（日） 小学校部門

2019年11月04日（祝月） 高等学校A部門

会場：文京シビックホール大ホール（東京都文京区春日1-16-21）

2019年11月17日（日） 中学校S部門・高等学校S部門

会場：尚美バリオホール（東京都文京区本郷4-15-9）

□運営役員一覧

大会顧問 煙山 力（元文京区長／社会福祉法人文京区社会福祉協議会会長）

大会会長 赤松 昌代（本財団理事長）

大会副会長 小澤 俊朗（本財団理事／一般社団法人日本管打・吹奏楽学会理事長）

運営委員長 石田 修一（本財団理事／柏市教育委員会学校教育参事）

運営副委員長 後藤 洋（作曲家／一般社団法人日本管打・吹奏楽学会理事）

運営事務局長 尾上 将己（本財団常務理事）

□共催（予定）

公益財団法人文京アカデミー、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

□後援（予定）

内閣府、文部科学省、東京都、文京区、文京区教育委員会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、他

□特別協力（予定）

尚美ミュージックカレッジ専門学校

□協賛（予定）

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社音楽之友社、株式会社東京ハッスルコピー、株式会社フォトライフ、ブレーン株式会社、ローランド株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社JTB、チャコット株式会社、株式会社エムアイセブンジャパン、他

No. 5 「日本ジュニア管打楽器コンクール」

全国小学校・中学校・高等学校の教育現場における管打楽器教育のあり方と、管打楽器愛好者の優秀な人材の発掘や育成及び啓発と普及を目的とする。文部科学大臣賞授与。

「2019年度 第22回日本ジュニア管打楽器コンクール」

開催部門 ソロ部門 (12楽器) / アンサンブル部門 (木管の部・金管の部・打楽器の部)

各コース 小学生コース / 中学生コース / 高校生コース

実施楽器 フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サクソフーン・トランペット・トロンボーン・ホルン・ユーフォニアム・テューバ・パーカッション・マリンバ

演奏曲目 予選・本選考会とも規定分数以内の任意の楽曲とする。

演奏時間 ソロ部門：小・中学生コース 5分以内。高校生コース 6分以内。

アンサンブル部門：小・中・高校生コース 5分以内。

受付開始 2020年01月08日（水）～01月31日（金）（予定）

予選考会 2020年02月15日（土）～02月16日（日）＜非公開＞（予定）

会場 尚美ミュージックカレッジ専門学校（各教室）

本選考会 2020年03月21日（土）～03月23日（月）（予定）

会場 国立音楽大学（新一号館内2スタジオ）

□運営役員

運営委員長 石渡 悠史（本財団理事 / 日本サクソフーン協会会長）

運営副委員長 井上 順平（日本トロンボーン協会会長）

運営事務局長 尾上 将己（本財団常務理事）

□後援（予定）

文部科学省、東京都、文京区、文京区教育委員会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都高等学校吹奏楽連盟、長野県吹奏楽連盟、北海道留萌地区吹奏楽連盟、福島県吹奏楽連盟、千葉県吹奏楽連盟、栃木県吹奏楽連盟、北海道旭川地区吹奏楽連盟、熊本県吹奏楽連盟、北海道札幌地区吹奏楽連盟、岩手県吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、大阪府吹奏楽連盟、埼玉県吹奏楽連盟、兵庫県吹奏楽連盟、京都府吹奏楽連盟、東京都中学校吹奏楽連盟、東京都小学校吹奏楽連盟、他

□特別協力 国立音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校

□協力（予定）

一般社団法人日本フルート協会、一般社団法人日本クラリネット協会、日本オーボエ協会、日本ファゴット（バスーン）協会、日本サクソフーン協会、日本ホルン協会、日本トランペット協会、日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・テューバ協会、日本木琴協会、他

□協賛（予定）

株式会社ヤマハミュージックジャパン、ブレーン株式会社、株式会社フォトライフ、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社ドルチェ楽器、東京ミューズ・アカデミー、株式会社JTB、株式会社こおろぎ社、尚美学園大学、他

No. 6 「サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」

作曲家の人材発掘を主眼としたコンクールやコンテストは、既に国内外に数多く存在しています。

特に伝統的な西欧クラシック音楽の延長上にある現代音楽の分野においては、様々な格式の作曲コンクールが多数存在しています。しかし一方で、現代社会において一般大衆に対する娯楽音楽、つまり商業音楽、ポピュラー音楽や映画放送音楽や劇伴といった分野への進出を目指す作曲家の人材発掘を目指したコンクールやコンテストの類は、まだ歴史も浅く、数も多くはないといった状況です。

そこで私どもは、あるテーマ（課題）を設定して、それに沿った作品を募集して審査するという実地的な方法で、優れたクリエイターの資質を備えた人材を発掘するコンクールの企画化を目指し、今までに在るようで無かった…、こんなクリエイター発掘コンテストが欲しかった…、というコンテストを開催します。

「2019年度 第7回サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」

課題：（未定）音楽作品

～テーマソング・キャラクターソング・ゲームなど背景音楽等々、任意の作品～
作品内容について：オリジナル作品に限る。

作品の提出形態：音楽作品のみ：DTMまたは生演奏によるオーディオ・データ

音楽の編成形態：歌ものでもインストゥルメンタルでも可

音楽作品再生時間規定：1分30秒以上5分以内を厳守すること。

参加料：1作品毎に10,000円

※1人（組）について何作品の応募も可能（但し、参加料は1作品毎に設定）

応募期間：2019年12月09日（月）～2020年01月15日（水）（予定）

応募方法：ホームページよりオンライン応募

選考期間：2020年01月30日（木）～2020年03月02日（月）（予定）

（第1次選考／第2次選考／ファイナリスト選考発表）

ファイナリストの中から第7回サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤーを発表

※クリエイターEXPO東京終了後にホームページにて一定期間鑑賞可能とする。

2020年04月01日（水）～04月03日（金）第9回クリエイターEXPO東京会場にて入賞者出展（予定）

グランプリ 1名（第1位）賞状・賞金=250,000円（予定）・出展ブース

準グランプリ 2名（第2位）賞状・出展ブース

入選（ファイナル進出作品）賞状

□運営役員一覧

顧問 赤松 昌代（本財団理事長）

運営委員長 佐々木 隆一（本財団理事／一般社団法人著作権情報集中処理機構代表理事）

実行委員長 松尾 祐孝（本財団理事／日本現代音楽協会理事）

実行副委員長 松井 朋巳（本財団理事／株式会社友ミュージック代表取締役）

実行委員 佐藤 旬（株式会社システムプランニングデンタルインターネット事業部長）

□協力（予定）

リード エグジビション ジャパン株式会社

□後援（予定）

一般社団法人日本作編曲家協会、一般社団法人日本作曲家協議会、日本現代音楽協会、他

□協賛（予定）

インターネット関連企業、音楽制作関連企業、電子楽器関連企業、他

公3事業：音楽に関する鑑賞機会を提供する事業

No. 7 「全日本市民バンドフェスティバル」

全国の音楽バンドの発展と地域における市民音楽バンド活動の一環として、地方音楽文化の普及と啓発に貢献することを目的とし、ここに「全日本市民バンドフェスティバル」を開催し、演奏会・交流会を行う。

「2019年度 第12回全日本市民バンドフェスティバル」

内 容 音楽のジャンルは問わない。小編成から、大編成40名位まで。演奏曲目は自由とし、演奏時間は20分とする。（入退場含む）

バンドの形態としては、小学生バンド、中学校吹奏楽部、高校吹奏楽部、一般バンド、ママさんバンド、シニアバンド、障害者と健常者のバンド、ジャズバンド、他

日 時 2019年12月22日（日）13:00～18:00（予定）

会 場 尚美ミュージックカレッジ専門学校（バリオホール）

協 賛 株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社フォトライフ、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社JTB、ブレーン株式会社、他

No. 8 「国際音楽ソフトウェア流通協議会」

（略称：イムスタInternational Music Software Trade Association）

違法コピーが蔓延している昨今、2008年のIMSTA委員会の設立から市場や消費者にメッセージを届け、継続的な教育啓蒙活動が主たる活動となる。

① Facebookでの普及啓蒙活動の実施 <https://www.facebook.com/IMSTAJapan>

啓蒙活動予定：イベントプロモーションを行う。

② 広報活動。

IMSTA JAPAN ホームページを通じた普及啓蒙活動及び媒体各社への無償告知の要請、無償パブリシティの協力要請、ミュージシャンへの取材及びWEBへの掲載。

<http://www.imsta.org/japan/index.php>

③ ヤフーオークション他へのIMSTA委員会としての団体参加。違法コピー商品のオークション掲載の即時掲載削除を実施する。

④ 店頭などで、リーフレットの配布などのプロモーションを行う。

2019年度の委員会メンバーは以下のとおりで、本年の下半期にはこの新体制の下、IMSTA FESTAを執行予定である。

公益財団法人日本音楽教育文化振興会 IMSTA委員会

委員長 村上 昇（株式会社インターネット）

副委員長 村井 清二（株式会社エムアイセブンジャパン）

副委員長 伊藤 博之（クリプトン・フューチャー・メディア株式会社）